

鹿児島プロジェクト 2011年度活動報告



1. 2010度の活動より

回遊性向上のために

- ・回遊性の高いまちとは？

まちなかに様々な「顔」がある

- ・魅力的なスポットが多様に存在する

まちなかに魅力的な「表情」がある

- ・スポットに立ち寄りたくなる仕掛けがある

「顔」や「表情」を眺める「場」がある

- ・休憩スポットが用意されている

回遊の風景が多様である

- ・各々の要素がネットワークされている

回遊性向上のために

- ・ 鹿児島市の資源や特性とは？

明快な都市構造

歴史・文化的魅力の豊かさ

市電やバスなどのモビリティの存在

天文館一帯の賑わい

回遊性向上のために

- ・ 昨年度の提案の一つである
USK（アーバンステーションカゴシマ）を
社会実験として実施する
- ・ 鹿児島市の資源や特性を活かしながら
回遊性を高める効果を検証する



回遊性向上のために

・USKの機能とは？

日常のまちの魅力を発信する

まちの回遊行動の起点になる

市民や観光客の交流拠点となる



台北 URS (Urban Regeneration Station) の事例



出典 <http://oneoutboundticket.wordpress.com/>
http://www.urstaipei.net/index_e.php

都市再生前進基地

都市内の未利用空間を地域コミュニティ再生を促す場へ
市内7ヶ所に展開、各々の用途は周辺住民に委ねている

2. 社会実験での取組

広馬場通りの位置



社会実験の対象とした「広馬場通り」

裏通りの面白さを
発信したい

そぞろ歩きを
したくなるような
昔ながらの界限

界限には
個性的なまちが
連なっている

カルチュ・ラタン（パリ市）

元は学生街という意味だが、文化的・
芸術的な活動が集まる場としての性格
が強い通りである

広馬場通りに、カルチュ・ラタンのような
街並みが生まれる可能性を感じたことが発端になった

広馬場通りの現況



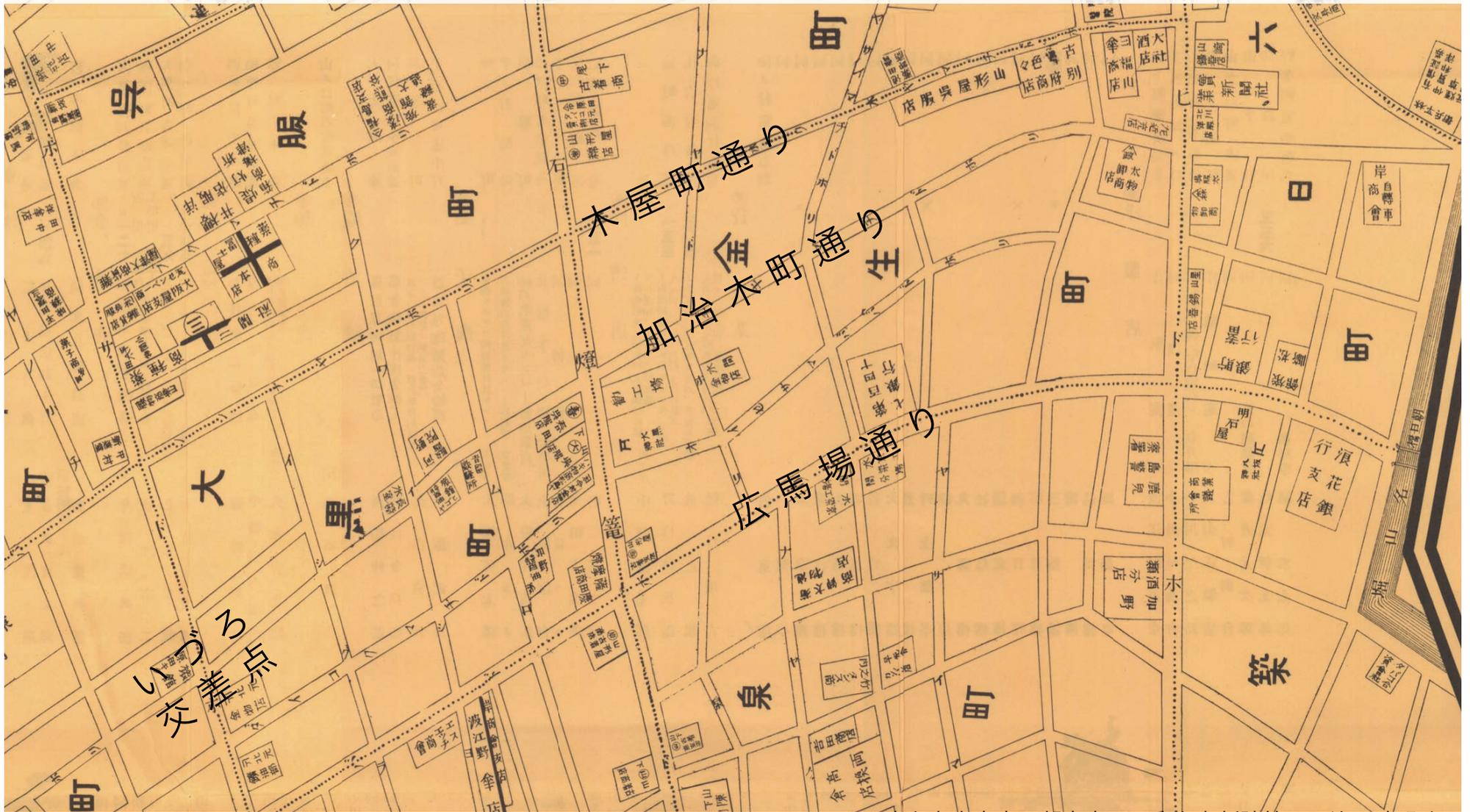
マイアミ通り付近から朝日通り方面を望む

広馬場通りの現況



名山町からみなと大通り方面を望む

広馬場通りの特徴



鹿児島市案内要部案内図 鹿児島新誌社 明治40年発行

明治時代は金融機関や老舗店が多く集まる、
鹿児島市のメインストリートとして賑わっていた

広馬場通りの特徴



現存する近代建築



名山町の街並み



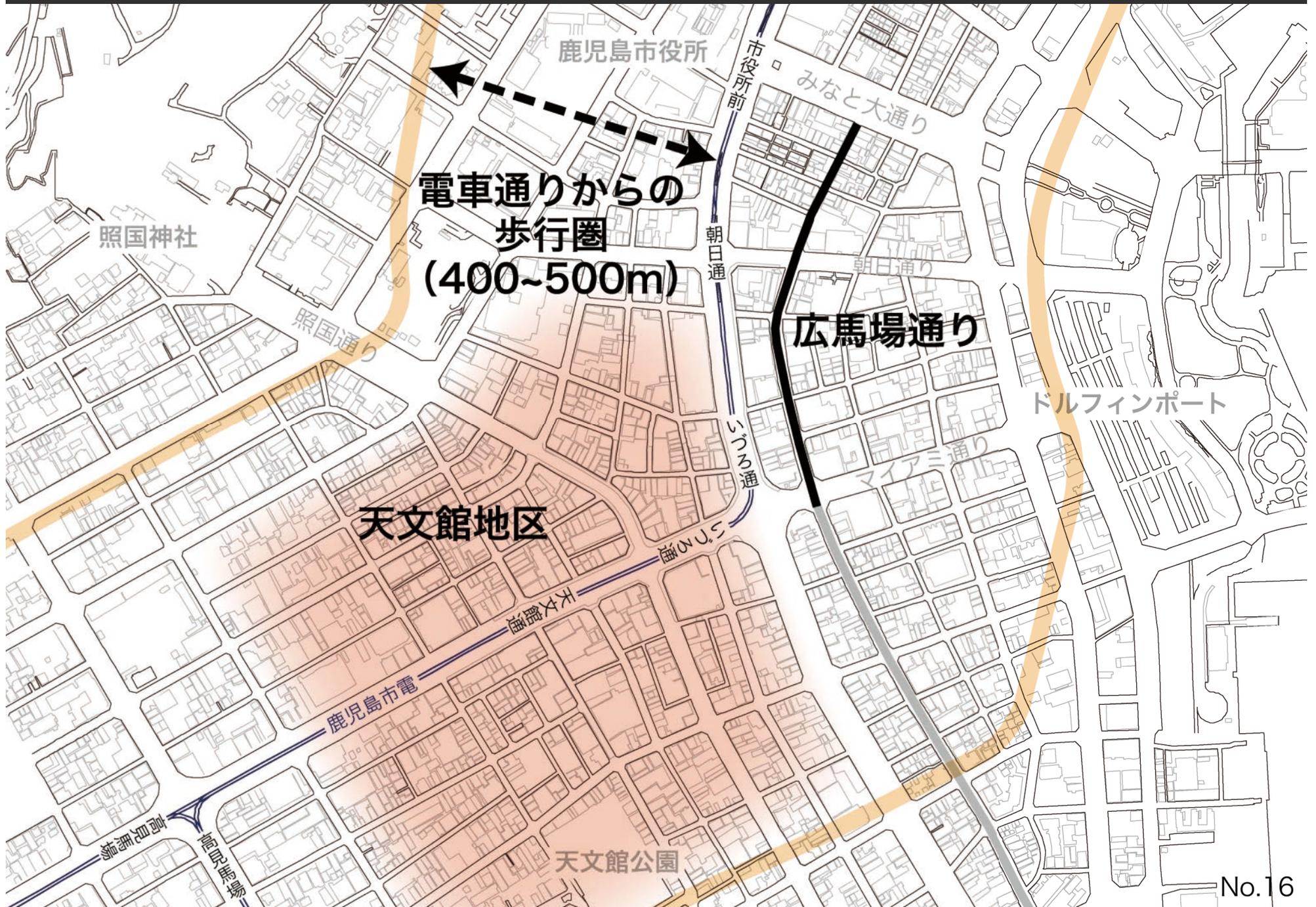
みなと大通り公園



Google Earthより

名山町、みなと大通りをはじめとした界隈からは
歴史の重層性を感じ取ることができる

広馬場通りの特性：中心部のフリンジにある



中心街の天文館に対する フリンジ（周縁部）

これまで注目されてこなかった地区だが、だからこそ、新たな取組の受け皿になるなどの発展の余地が残されている

フリンジの持つ特長

- ü 空間に余裕がある
- ü 地価が低く賃料が安い
- ü 交通利便性が高い

など

中心街

フリンジ

郊外

USKの狙い



往時のメインストリートである
広馬場通りの界隈を
「通り」として顕在化する

+

天文館地区からフリンジへ
動線を引き込む

各会場の概要

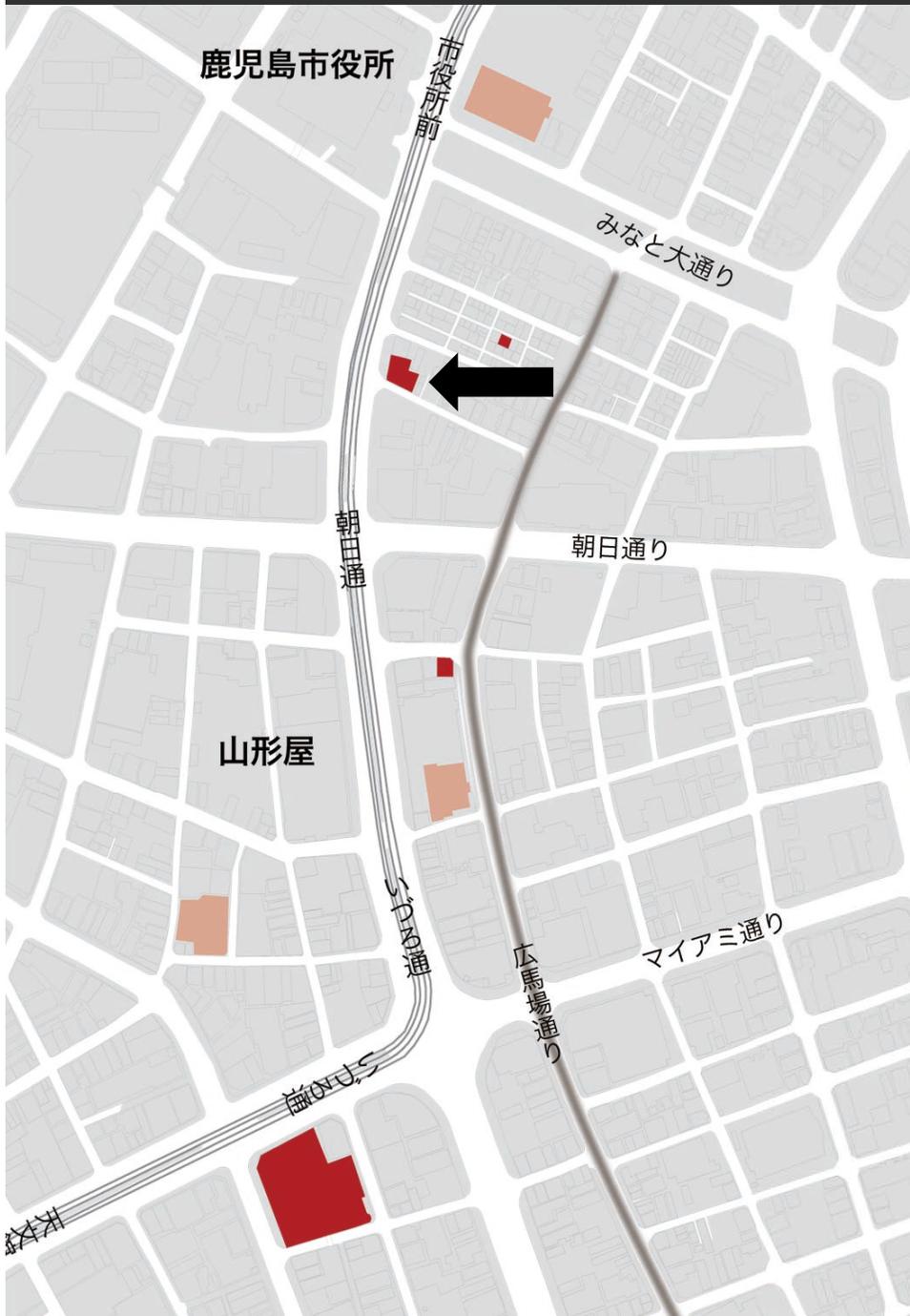
区分	USK				連携拠点	
名称	USK@マルヤ	USK@広馬場	USK@名山町		鹿児島銀行 本店別館	個人プラザ かぎんWELL
会場	マルヤガーデンズ4F	井上ビル1F	三街区 ギャラリー	レトロフト 千歳ビル2F	鹿児島銀行 本店別館2F 旧頭取室	中町中央ビル 1F
普段の 用途	レンタル スペース	空き店舗	ギャラリー	ギャラリー	企業の 会議室	企業の 情報発信空間
位置 づけ	情報発信	回遊拠点	回遊拠点	回遊拠点	文化財の公開	情報発信
会場 テーマ	まちに出よう、 まちを知ろう	カゴシマの 導火線	名山町を味わう		広馬場通りは かつての ウォール街	アーバン デザイン センター の紹介

+

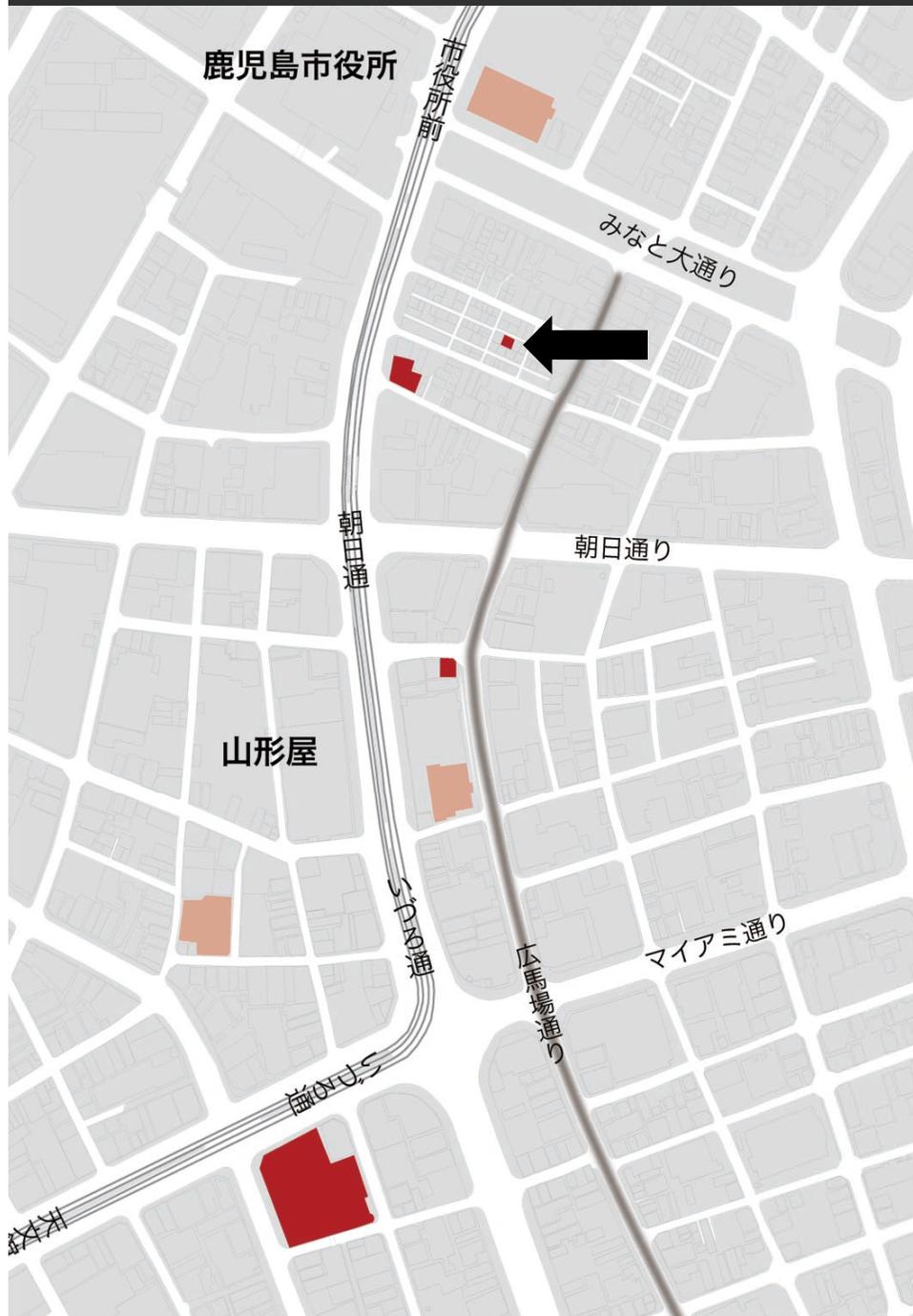
トークイベント & まち歩きイベント 開催

11/5 (土) 16:00~18:00 鹿児島市役所みなと大通り別館1F

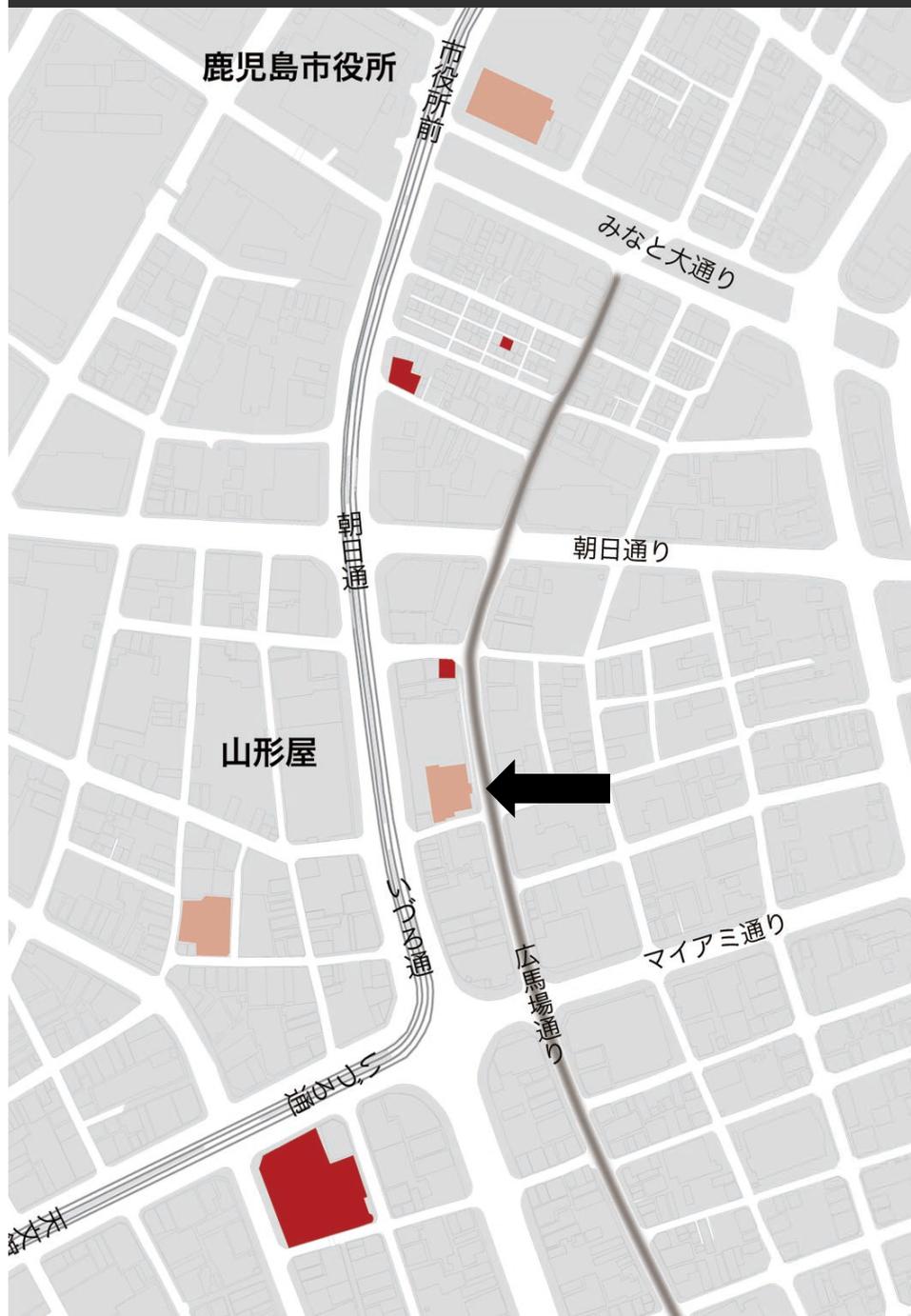
USK@名山町会場：レトロフト千歳ビル2F



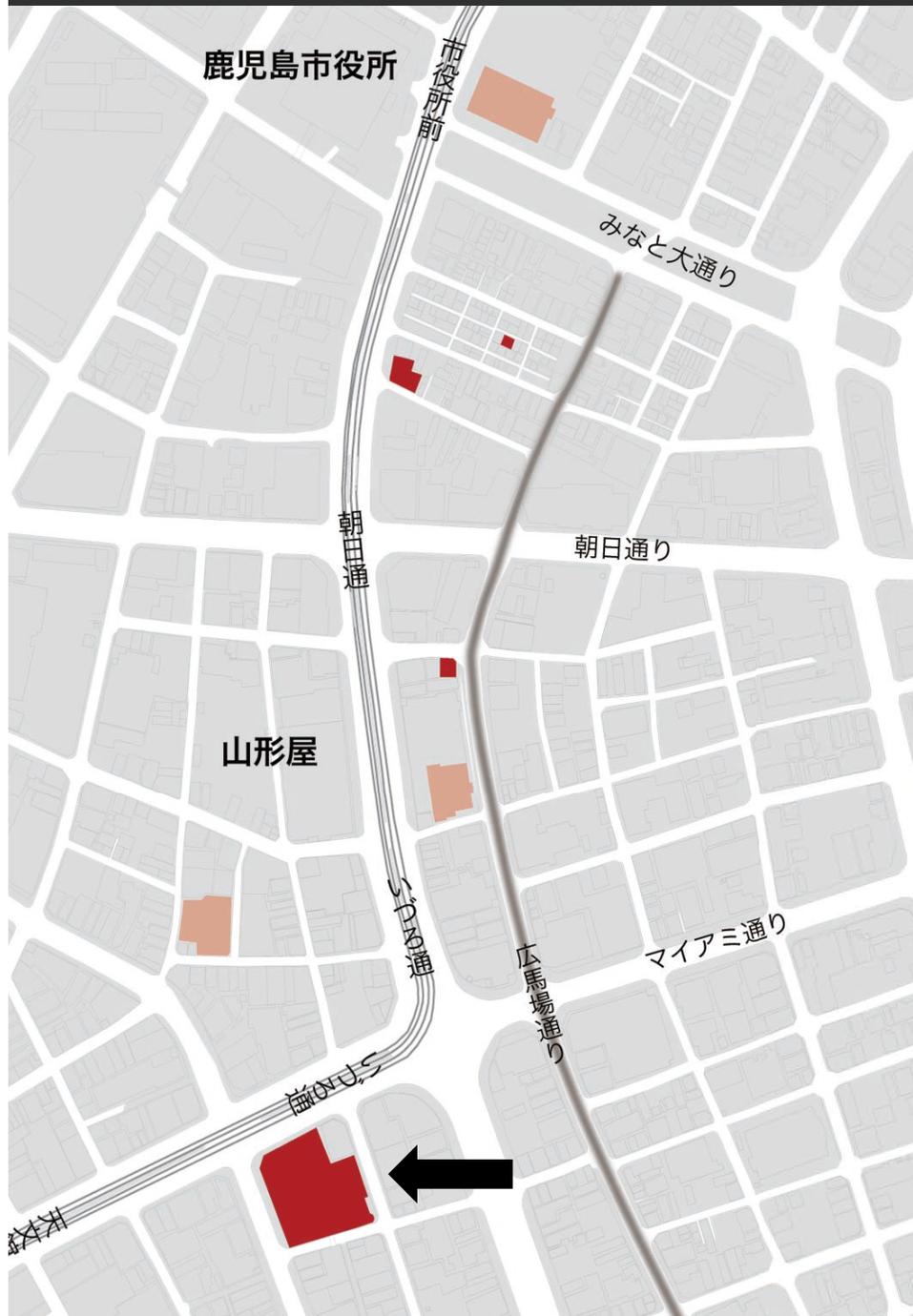
USK 名山町会場：三街区ギャラリー



連携拠点：鹿児島銀行本店別館



USK@マルヤ会場：マルヤガーデンズ4F



社会実験関係者

鹿児島市 東京大学 鹿児島国際大学

(連携・協力)

団体名	連携・協力内容
(株)鹿児島銀行	本店別館、個人プラザかぎんWELLを展示場所として提供
鹿児島大学建築学科	企画の作成、調整、運営、トークイベントでの協力
かごしま探検の会	USK@名山町の企画、トークイベントでの協力
マルヤガーデンズ	イベントスペースの提供
(社)鹿児島県建築士会	まち歩きパンフレットの提供
いづろ商店街振興組合	商店街でのポスター掲示での協力
金生通り商店街振興組合	商店街でのポスター掲示での協力、資料の提供
名山町通り会	USK@名山町の企画での協力
WeLove天文館協議会	天文館内でのポスター掲示、リーフレット配布での協力
鹿児島ブランドショップ	サイン設置での協力

準備スケジュール

4月	USK社会実験の企画 企画意図・メンバーの確定	企画
6月4日~6月8日	第一回現地調査 鹿児島市の視察と会場の検討	
8月18日~8月22日	第二回現地調査/ワークショップ 鹿児島大学とのWS、資料収集	準備
9月30日~10月3日	第三回現地調査/ワークショップ 連携各所での打ち合わせなど	
10月	展示物の作成 東京大学および鹿児島大学にて作業	
10月30日~31日	社会実験準備 各会場の設営作業	運営
11月1日~11月6日	社会実験開催	
11月7日	社会実験終了 各会場の撤収作業	

鹿児島大学とのワークショップ



会場設営の様子



広報活動 (Web)

ホームページ

URL : <http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/project/Kagoshima/HOME.html>

※10.18 USKポスター / リフレット完成!

USK(アーバン・ステーション・カゴシマ) 社会実験
日時 2011.11.01~06
10:00~18:00※
※USK@マルヤのみ20:00まで
場所 こちらの3カ所

ポスター / リフレットのPDFダウンロード

まちはいきもの

まちとは、色んな人の、色んな想いが重なってできた空間

視点をえて眺めてみると、様々な表情が見えてくるんです。

一音段何気なく通っている道に、実は深い歴史があった。

一音段は行かないあの場所に、実は面白い空間が広がっていた。

一音段は当たり前に見ている景色に、実は工夫が仕込まれていた。

Twitter

アカウント : @USK_KAGO

USK(アーバンステーションカゴシマ)
@USK_KAGO 鹿児島県鹿児島市
2011年11月1日~6日にかけて、天文館周辺で東大、産大、産大らによって行われる社会実験USK(アーバンステーションカゴシマ)のTwitter。普段はちよと気づきにくいようなカゴシマのまちあるきの魅力を紹介します。USK@マルヤ、広瀬、名山町の3カ所を巡回します!『この街、カゴシマのこと、もっと好きになる。』
http://bit.ly/USK_KAGO

フォロー

ツイート お気に入り フォロ フォロワー リスト

UDL_UT Urban Design Lab @USK_KAGOがリツイート
都市デザイン研マガジンvol.158(11月10日発行)をアップしました!表は「アーバンステーションカゴシマ開催!」、裏は「阿部先生からの町家暮らし便り」「初代編集長酒井氏特別講義」「ルンビニP」です!
bit.ly/tDi3Sk (*PDF) #UTUDL
11月14日

jampada Pornsan V @USK_KAGOがリツイート
USK@マルヤの皆さま、長らく大変お疲れさまでした。
pic.twitter.com/RA55oGIO
11月7日

t_suikajp 志賀 隆行 @USK_KAGOがリツイート
【拡散希望】11/13(日)まちなみタウンウォッチングが開催されます。鹿児島島の「顔」今昔~中央公園~泉町~名山町 受付9:30~終了予定12:00 場所:中央公園の西側側面側一応11/9日に建築士会事務局にTEL予約して下さい。飛び込み参加OKだと思います。宜しければ是非!
11月8日

niu_t niu @USK_KAGOがリツイート
市美一文学館→USKぐるっとさるいてきた。名山町おもしろい!そして三街区キヤラリーにもやっとなら行けたー(しかしあの階段の急勾配w)。冊子を見て、街づくりを真剣に考えてるのんが伝わって来た。
11月6日

Twitter Ranking
今日の1位は.....?
さっそくツイナビで見ろ!
※ツイナビでは、ご本人承認したアカウントを掲載しています。

USK(アーバンステーションカゴシマ)さんとつながる
いますぐTwitterを始めませんか

名前
メールアドレス
パスワード
新規登録

USK(アーバンステーションカゴシマ)さんはこんな風にTwitterを使っています
@USK_KAGO がフォローしているユーザーを見る

@USK_KAGOについて
146 ツイット 846 フォローしている 422 フォロワー 19 リスト

最近の画像 - 全てを見る

広報活動（製作物）

ポスター（34ヶ所）



商店街アーケードなど

リーフレット（5000部）



天文館地区各所

ステッカー（29ヶ所）



観光案内板に貼付け

サインスタンド（4ヶ所）



電車通りと広馬場通りに設置



USK@マルヤでの取組

テーマ まちに出よう、まちを知ろう

戦略 マルヤガーデンズの集客力を活かしながら、3カ所の「ガーデン」にて広馬場通りや名山町、USKの取組みなどを紹介する

名山町連続立面パネル



ガラスマップ





USK@広馬場での取組

テーマ カゴシマの導火線

戦略 空き店舗を活用し、広馬場通りや周辺街路などの「通り」を顕在化する

空から見たカゴシマの「まち」と「みち」



カゴシマ・アーバン・ヒストリー



にぎやかな広馬場通

：武家屋敷町と名山堀を



薩藩御城下絵図 安政 7 年または万延元年 (1860 年)

城下町の
鹿兒島は
突川の川
城下町発
だすこと

広馬場通
通り（現
通りです
も併設し
たことか
を受けま

生活の動
明治維新
かは、焔
はただち
金生町、

考える
中心地と





USK@名山町での取組

テーマ 名山町を味わう

戦略 既存のギャラリーで名山町の魅力を紹介し、
名山町自体の空間を体験できる展示を行う

各店舗の逸品紹介（レトロフト千歳ビル2F）



名山堀の系譜（三街区ギャラリー）



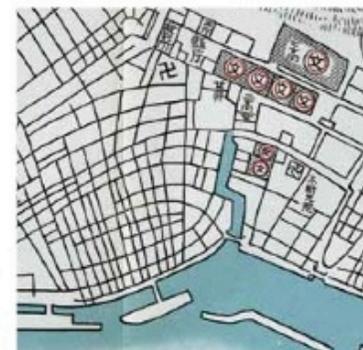
名山堀の系譜

—街としての発展—

1910~1915頃 市電の開通と堀の埋め立て

明治初期ようやく大規模工事は終了しましたが、1900年頃になると早くも堀の埋め立てが始まります。その契機となったのは市電の開通でした。大正元年に谷山線が開通したのち、当時の市の中心だった鹿兒島駅周辺とを結ぶ新たな市内線を計画しました。そこで堀の一部を埋め立てる必要が生じたわけです。

1909年には現在の市電通り側の埋め立てが完了し、1919年までに北側の部分も併せて計10000㎡が埋め立てられました。市電は1914には開通しましたが、現在の「市役所前」の電停は当時「名山堀」という名前の電停でした。



大正2年の名山町周辺（鹿児島市 鹿児島のおいたち）

1920~1940頃 昭和初期の堀の役割

昭和初期頃、現在のみなど大通りの辺りでは石造りの倉庫群が立ち並び、貨物の荷揚げや荷おろしのための小さな船も数多く停泊していました。またカキ舟と呼ばれる、広島からカキを運ぶ舟が港の沖合に停泊し、団平船に積み荷を移し替えて堀まで来ていました。このカキ舟は当時非常に大きな人気を博したといえます。

この頃の堀の水は悪臭が立つほどよどんでおり、水面に「名山」を映した江戸時代のそれとは程遠いものでした。しかし夜には提灯で飾られその光がゆるやかな波でゆらゆら揺れる、詩情を誘う趣きある場所として多くの人を集めました。



昭和10年頃の名山堀（石山信夫氏 提供）

1935~1937頃 公設市場が名山町へ

最後まで残っていた堀の南側の部分は、1935年頃ようやく埋め立てが始まります。まず現在の名山町三・四街区にあたる部分が埋め立てられます。



路地パネル



飛び梁で支えあう



この路地から空を見上げると、電線とともにほぼ一定の間隔で渡されている棒の存在に気づきます。実はこれ、「飛び梁」といって建物の耐震性を高める役割を果たしているそうです。金属の板がかぶせられているのは、木でできているために雨で腐らないようにするための工夫です。狭い路地をはさんで建物を支えあうこの光景は、この町で暮らす人々の支えあいの姿を象徴しているかのようなようです。

アーバンステーションカゴジマでは、名山町の歴史と命を知るのみならず昔の書籍や新聞などを手に取って昭和の気分を味わうことができます。ぜひ足を運んでみてください。



- ★ 現在地
- ★ アーバンステーションカゴジマ
11時～19時 11時～19時 (日)
12時～19時 入場無料
(レトロPOPは裏通り11時～)



▲ 実は「ただの棒」ではなかった

製作：東京大学 鹿児島大学

まち歩きマップの作成・配布

登録

鹿島の発着地のエリアには新しい国有形登録文化財として、多くの個性的な建築物が存在します。昭和の戦後消失したため、明治から昭和初期に建てられた建築物は数少ない当時の時代を映し出す貴重なものでもあり、その魅力を噛みしめながら普段とは一味違う街歩きをお楽しみください。

- 01 鹿児島銀行本店別館
- 02 南日本銀行本店
- 03 鹿児島市庁舎本館
- 04 山形屋
- 05 農産業社屋



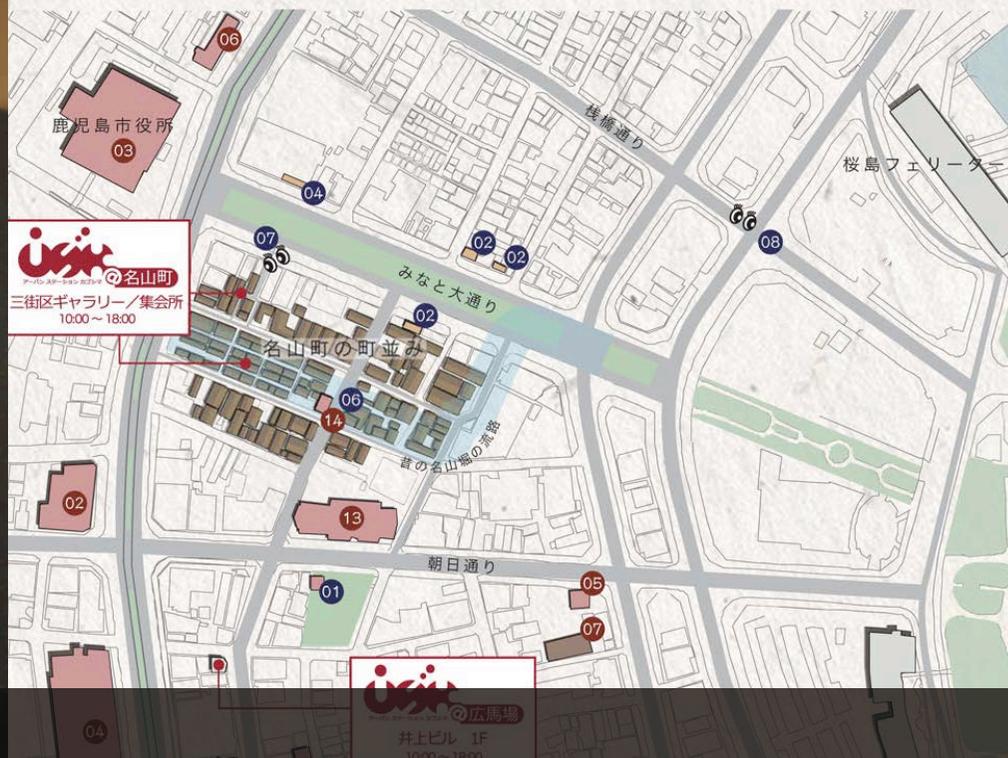
正6年に山形屋に次いで建てられた鉄筋コンクリート造の建物。鹿児島におけるルネッサンス様式の代表です。

1937年に造られた近代建築の様式を反映した建物。竣工時に屋上庭園も設けられました。県内初の国登録有形文化財。

昭和12年に建造された市庁舎。1階正面のアーチ上には銅製の装飾が、天井の窓下には鹿児島市市章をモチーフとした装飾が施されています。

美しいルネッサンス調の外観が映える建物。市電の全線開業のため、当時山形屋が保有していた敷地を提供したことで、現在の市電通りが出来上がりました。

昔は倉庫や倉庫として使われていた石造りの擬洋風建築。大正時代に建てられたとされ、現在は事務所として使用されています。



広馬場通り界隈の建築物の魅力を集約
魅力的な建築物が有効利用される契機となるよう期待



国登録有形文化財
鹿児島銀行本店別館
旧頭取室特別公開中

期間 2011.11.1 (火) ~ 11.6 (日)
10:00 ~ 17:00

鹿児島銀行本店別館は、国登録有形文化財に登録され、大正時代の面影を残す鹿児島でも貴重な建築遺産です。ただいま特別にその内部を公開させていただきます。皆さまには2階にある旧頭取室を公開いたします。旧頭取室では、壁や天井、調度品にいたるまでの装飾にこだわりが感じられる豪華絢爛な空間が見られます。この機会にぜひ一層、お立ち寄りください。

地域資源の活用

国登録有形文化財 鹿児島銀行本店別館
個人プラザかぎんWELL

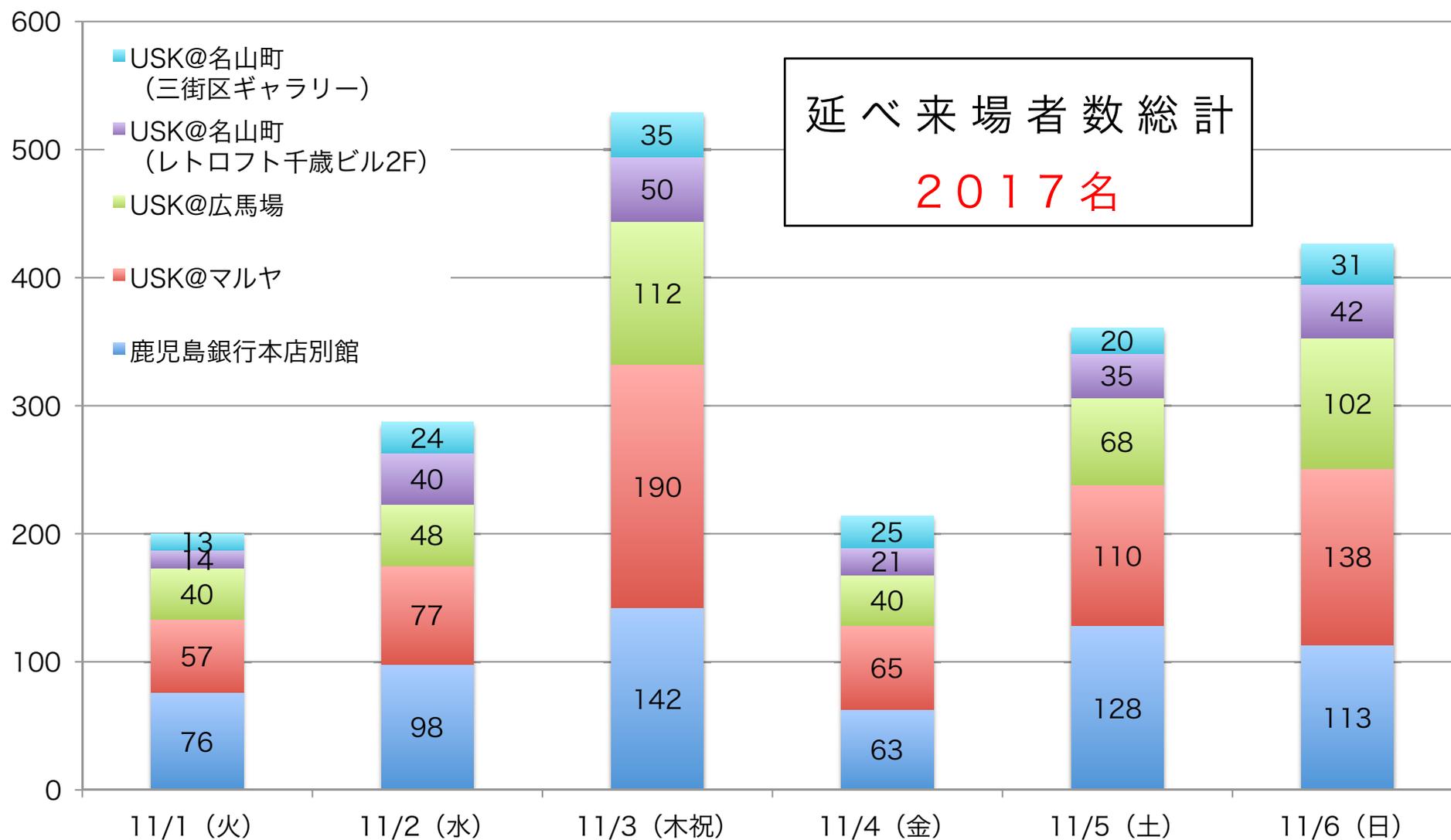
鹿児島銀行本店別館



- ・ 広馬場通りの持つ金融街としての歴史を際立たせる
- ・ 国登録有形文化財としての建築的価値を再認識する
- ・ 旧頭取室の公開、および広馬場通りに関する歴史を展示する

3. 社会実験の効果

各会場の来場者数



おはら祭
夜まつり

おはら祭
本まつり

実施した調査の一覧

調査方法	意図	調査方法
来場者 アンケート	来場者の属性と その傾向を調査	来場者に対し 口頭によるアンケート
ルート調査	来場者の回遊行動の ルートを調査	来場者の回遊行動の軌跡 を地図に記録
モニタリング 調査	USKの有無による 回遊ルートの変化を調査	特定対象者について 開催前と開催中の2回 回遊行動の軌跡を記録
歩行者 交通量調査	USKの有無による 広馬場通りの 断面交通量の変化を測定	県産業会館前の交差点 でビデオ撮影を行い 目視により計測

広馬場通りの回遊性に対する効果

広馬場通りにおける断面交通量の変化
(測定は11:00~16:00)

測定	平日	休日
通常時	317 (9/29)	193 (10/1)
USK開催時	356 (11/4)	263 (11/5)
増加率	12.3%	36.3%

USK開催によって広馬場通りの交通量は増加している

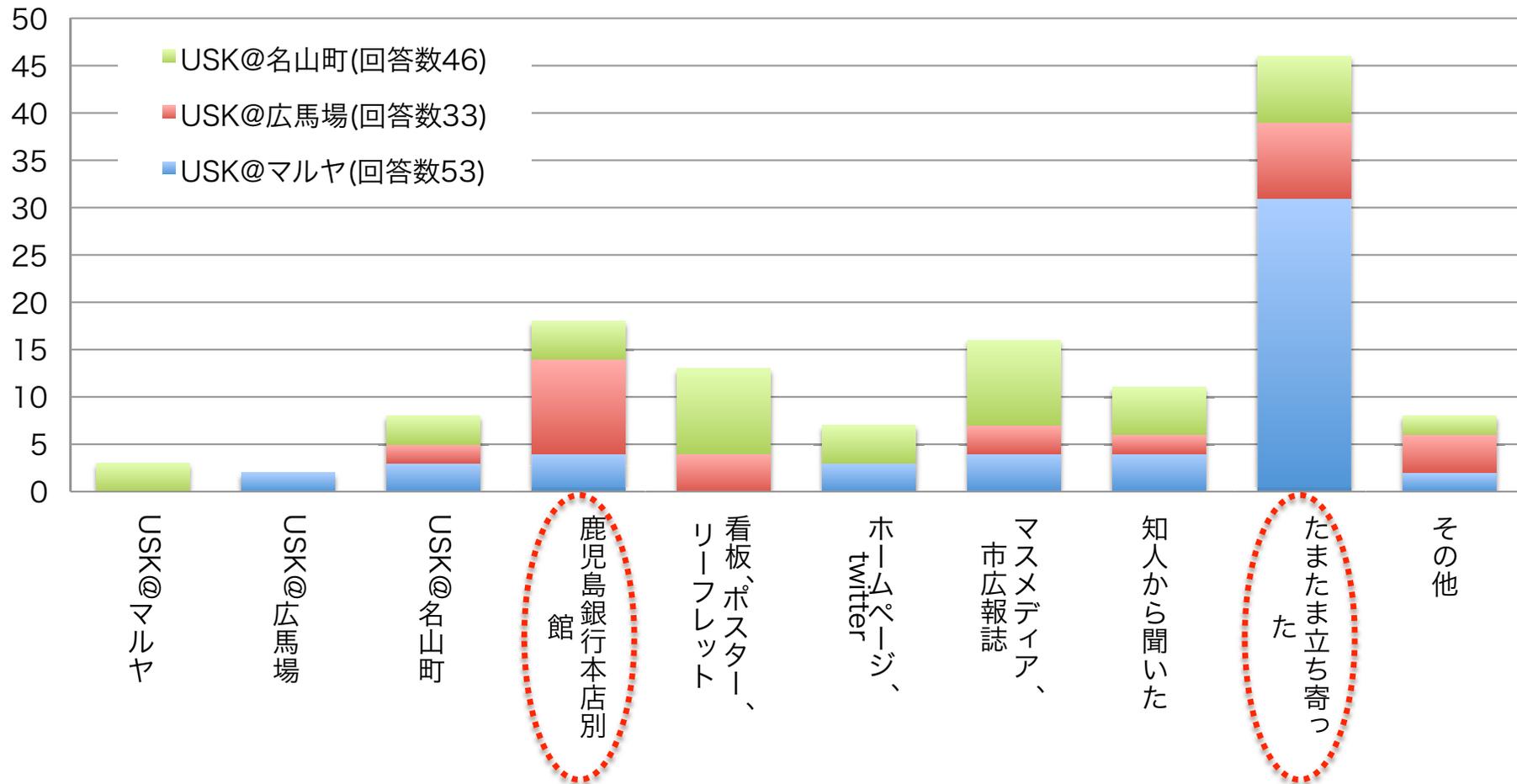
広馬場通りの回遊性に対する効果

- ・ 広馬場通りの交通量増加の大きな要因として、鹿児島銀行本店別館の集客力が挙げられる
- ・ 名山町界限における回遊行動の表れは、町内に多数配置した路地パネルによる効果と考えられる
- ・ 海側への動線を誘導するためには、海側にも企画や展示を配置する必要があった

地域資源の活用（施設）

アンケート調査より

「どこでUSKの存在を知りましたか？」の回答結果



地域資源の活用（施設）

- ・ USK@マルヤでは、「たまたま立ち寄った」来場者が多かった
 - ・ 中心部の集客力のある施設でUSKを告知することの重要性を示している
 - ・ マルヤガーデンズのような日常生活の延長にある交流空間の可能性が見出された
- ・ 鹿児島銀行本店別館は、USKの企画を知らない方々も数多く来場した
 - ・ 建築遺産を地域資源として顕在化する重要性が確認できた

地域資源の活用（ひと）

地域の有志とのワークショップ（FUKU+REにて）



町内会との連携・協力（名山町）



建築士会の協力



界隈の新規創業者との交流・連携



まちに魅力を感じた人たちと様々な形で連携できた

語り合う場としての重要性

自分の好きな場所を書き込むガラスマップ



幅広い年代が都市に触れるきっかけとなった模型



展示に共感した市民の方が持参した古地図



市民のまちへの興味の受け皿としても機能した
新たに多くの逸話や史料が来場者から入手できた

4. 鹿児島市のまちづくりへの示唆

鹿児島市の「豊かさ」

- ・ 社会実験の鍵となった鹿児島市の地域資源

天文館という中心街の存在

- ・ 賑わいの象徴としての天文館

まちなかに静かに残っている歴史的魅力のある空間

- ・ 石にまつわる空間が数多く存在

まちの歴史に魅力を見いだしていた多くの人々

- ・ すでに活動している多様な主体の受け皿の必要性

活動に理解を示し、気軽な交流を生んだ多くの市民

- ・ 日常生活のなかでのまちへの関心の高さ

事例：マルヤガーデンズの取組



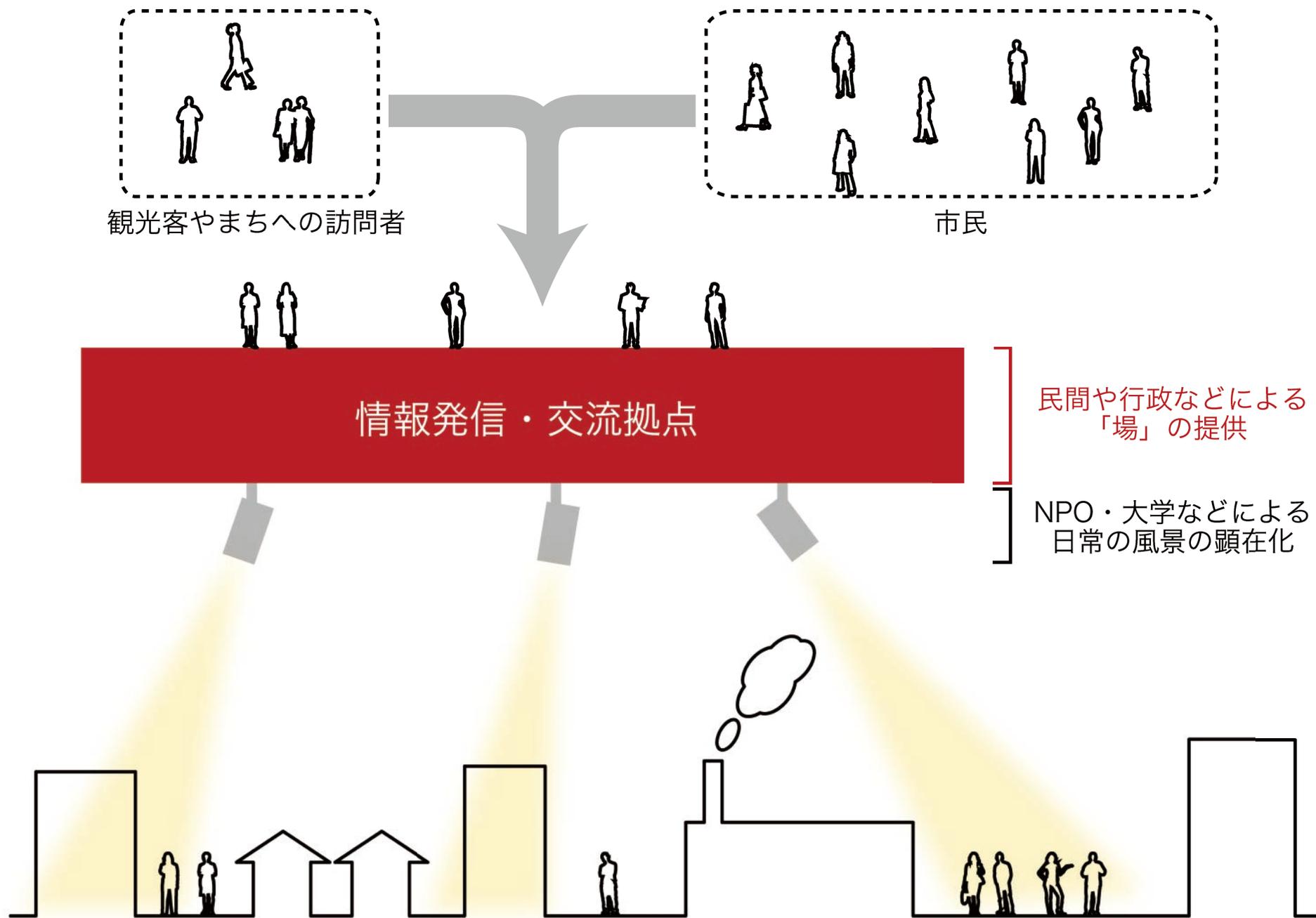
空間としての居心地の良さ

日常生活と結びついた
立地・企画戦略

幅広い市民が入りやすい
雰囲気づくり

各フロアに設けられた「ガーデン」は
買い物や食事などの日常生活のすぐそばにある

日常の風景に光を当て、まちを語り合う場をつくる



これからのまちづくりに必要な取組

日常の風景に光を当て、発信する

まちについて語り合う場を提供する

持続的なまちづくりのきっかけをつくる



観光客だけでなく市民にも
実際にまちに出て魅力を体感してもらい、
まちをもっと好きになってもらうことができる



ご清聴ありがとうございました。